

個別の教育支援計画の活用

今年度、個別の教育支援計画の様式が域内で統一され、作成が進められてきました。11月に発出した「特別支援教育に関する調査」の結果によれば、特別支援学級において作成が100%となりました。また、活用においては、引継ぎの際に多く用いられ、個別の教育支援計画が本来の機能を発揮しています。

その他の活用例としては、「就学・進級・進学等での活用」「福祉サービス利用の際の活用」「学校や関係機関と必要な支援について話し合う際の活用」等が考えられます。今年度、切れ目のない支援体制整備事業（相談支援）のケース会議においての活用も見られました。個別の教育支援計画をもとに、保護者及び学校間で、その子供にとって必要な支援について合理的配慮に基づきながら具体的に検討することが可能となります。

次年度も、より一層個別の教育支援計画の活用を進めていただき、特別な支援を必要とする子供たちへの支援の充実につなげてください。



【第2回特別支援教育体制促進協議会】

『南会津』がつむぐ南会津ならではの社会教育！  
～学校・家庭・地域が一体となった社会教育の実現～



地域と連携した教育の充実に向けて

今年度から各学校の校務分掌に地域連携担当教職員が位置づけられました。事務所では、地域連携担当教職員の研修会を2回行っています。研修会の中で参加者から「南会津域内は学校と地域の関係が密であり、地域との連携が進んでいる」という話がありました。各校の地域連携活動年間予定を見ると、地域の方を講師として招いたり、地域に出向いて活動したりする計画が多くありました。館岩小学校では、子供たちが地域の方に割り箸鉄砲や万華鏡の作り方などを教えてもらい、そのお礼に子供たちから肩たたきのプレゼントをするという工夫された活動が行われていました。また、江川小学校では、いつもお世話になっている地区の方への感謝の気持ちを込めて、学校周辺だけでなく湯野上温泉駅など地域の様々な場所を清掃する活動を行っていました。実際の活動を見せていただくと、様々な学校でそれぞれに地域と連携した特色ある活動が展開されているということを実感しました。学校だけでは運営困難なことも関係機関の協力を得ることでよって実施できている活動も見られました。

今後も校長先生のリーダーシップのもと、地域連携担当教職員を中心に地域との連携を深め、学校教育が充実していくように、また地域への参画の視点から地域貢献の活動もできるように計画的に取り組んでください。



【地域の人材活用】



【地域への参画】

◇ 受賞の記録 ◇

【文部科学省】

- 社会教育功労者  
下郷町男女共同参画推進協議会前会長 室井 伸子
- 優秀教職員 荒海中学校教諭 星 美和  
只見中学校主査 梁取 勝伸
- 優秀職員（団体）の部 朝日小学校

【福島県】

- 福島県PTA連合会会長表彰 楢原小学校

【福島県教育委員会】

- へき地教育関係功労表彰 伊南小学校
- 学校関係緑化コンクール（学校環境緑化の部）  
公益財団法人ふくしまフォレスト・I・C・I財団理事長賞  
下郷中学校
- 福島県教職員研究論文 入選 只見小学校  
入選 朝日小学校

【福島県教育委員会】

- 食育推進優秀校表彰 優秀賞 田島小学校  
優良賞 只見中学校  
学校賞 只見小学校  
学校賞 荒海中学校
- ふくしまっ子ごはんコンテスト
- ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト事業  
☆ふくしまっ子体力向上優秀校 田島小学校  
伊南小学校  
檜枝岐小学校  
荒海中学校  
檜枝岐中学校  
南会津高等学校
- ☆なわとびコンテスト(高学年9人以下の部)  
第1位 南郷小学校 第6学年

【福島県学校歯科医師会】

- 学校歯科保健優良校表彰 優秀賞 只見小学校  
優秀賞 檜枝岐中学校



「新たな気づきと挑戦」

只見町立明和小学校

教諭 吉津 知子

(算数科コアティーチャー)

「自分が経験したことがないことに挑戦したい」という思いから算数科コアティーチャーを務めさせていただきました。そこで、自分の故郷である只見町の小中学校での授業やさまざまな研修に参加することができました。

ある研修会で学力調査官の稲垣悦子さんから「算数科で学級経営ができる」という話を聞きました。算数科の授業でどのように学級経営するのか疑問に思いましたが、日々の授業や研修を続けるうちに気付いたことがありました。問題の解き方が分からない子供の思いに寄り添い、その子の困り感をクラスで共有することで友達同士が助け合えるクラスになっていくということです。「分からない子供は先生が助ける」という私の考えを見直すきっかけになりました。

子供が悩み、考え続けながら、友達と共に答えにたどりつけるように、私はそのつなぎ役になることを心がけ、授業改善に取り組んでいます。少しずつですが、友達との話合いから解決に向かう子供が育ってきました。

算数科コアティーチャーとして校内はもちろん、域内、県内のたくさんの先生方に助けていただけたことは貴重な経験となりました。本当にありがとうございました。



「1年間を振り返って」

檜枝岐村立檜枝岐小学校

養護教諭 渡辺 怜奈

(新採用)

4月1日に行われた辞令交付式の日。朝、外に出ると真っ白な雪景色。式中も雪が降っており、南会津の地に来たことを実感しました。(今冬は例年よりかなり雪が少なく、檜枝岐での生活がしやすいとはいえ、スキーをするための雪も足りない状況は、複雑な思いです。)

着任して最も印象的だったのは、たくさんの人の「頑張る姿」です。檜枝岐小中学校は、水泳大会や村民大運動会、陸上大会、合奏祭、文化祭など行事がたくさんあります。それに向かって全校生で練習に取り組む子供たち、全力で指導・支援する先生方、そして協力して下さる保護者や村民の方々の姿に胸を打たれました。私は、キラリと光る笑顔や悔し涙、悩んだ顔など、さまざまな表情を見せて日々成長していく子供たちを保健室からサポートしたいと強く思いました。

私は今、「自分が行った対応でよかったのか」「児童生徒が少しでも前向きになれたのか」と不安になることばかりです。しかし、自分自身も学ぶことを忘れず、目の前の子供たちにできることを常に考えて関わっていきたいと考えています。養護教諭の立場で、熱心な担任の先生方や管理職と連携しながら、子供たちの成長をサポートしたいと思います。

◇ 作品紹介 ◇

◇ 管理の窓 ◇

令和元年度「ふくしまを十七字で奏でよう 絆ふれあい支援事業」

◇絆部門<県優秀賞作品>

「父と風呂 はずむ会話と あふれる湯」

「単身の 疲れを癒す 家の風呂」

荒海小6年 山内楓雅さん・山内 浩さん(父)

◇絆部門<県佳作作品>

「どんぶりの トマトかんしょく おいしいな」

「八年目 ようやく回復 地の力」

朝日小2年 三瓶れんさん・矢吹賢一さん(祖父)

令和元年度「ふくしまっ子ごはんコンテスト」

◇小学校下学年の部<県優秀賞>

「火をつかわないかんたん朝ごはん」

伊南小2年 平野ゆずさん



◇小学校上学年の部<県優秀賞>

「畑でとれた夏野菜たっぷりごはん」

伊南小5年 星 楓さん



◇中学校の部<県優秀賞>

「会津の彩弁当」

下郷中1年 佐藤桃奈さん



例年のことですが、この時期は人事異動に関する業務が管理のメインとなっています。その業務も終盤になってきました。

異動に伴って行わなければならない事務手続きについてまとめてみました。参考にしてください。

『賃貸等の契約について』

異動に伴い、アパート等の契約事務が出てきます。勝手に契約してしまうと「赴任旅費」の対象外になることもあります。内示以降の契約が望ましいです。

『住民票の異動について』

住民票の出し入れについては、原則辞令以降としてください。これも「赴任旅費」に関係してきます。ただ、新採用教員については、4月1日の辞令ですのでこの限りではありません。

また、児童手当を受けている教職員については、支給の手間を考えると、3月31日出、4月1日入で住民票を異動するとよいとのことです。

不安な場合は、事前に旅費担当と協議してください。

金銭に関わる事務手続きは、気がかりなことです。ぜひ参考にしていただき、新年度事務手続きでの不安を軽減し、新生活に臨んでください。この余裕が交通事故等不祥事防止の一助になると考えます。

編集後記

この冬は2月になっても積雪がなく、「雪がないまま南会津に春が訪れるのだろうか。」「いやそんなはずはない。」と自問自答しております。

年度末のご多用のところ、玉稿をお寄せくださった皆様方に心より感謝申し上げます。